

心理小委員会活動報告

心理小委員会

小委員長 神作 博

1. 研究テーマおよび目的

平成 13 年度までは、「公共的地下空間の知覚環境に関する研究」をテーマとし、利便性・快適性・安全性などの側面から、公共的地下空間の評価基準を設定することを目標として、評価項目を検討するために、既存の施設の試験的評価、利用者の評価視点の取得、地下空間と人間活動との関連についての研究を行ってきた。平成 14 年度はこれを受けて、さらに心理学の観点から、地下空間における人間の行動について研究し、公共的地下空間の多様な利用者の知覚環境、災害時行動などに重点を置き、その成果を実際の地下施設への適用を検討することを目的とする。

2. 研究活動

昨年度まで、環境・心理小委員会として 3 年間上記テーマに基づいて、研究活動を行う 4 つの WG を設定し、具体的研究テーマの設定および研究活動を行ってきた。

その研究成果は、地下空間シンポジウムおよび土木学会年次講演会の共通セッションにおいて発表を行ってきた。また、国土交通省「大深度地下利用に関する技術開発ビジョン」の空間設計技術について地下防災小委員会の協力を得て取りまとめた。その概要については、7 月の研究成果報告会で発表している。

平成 14 年度は、心理小委員会として新たな委員を公募して立ち上げた。今年度は、本委員会が、心理、建築、土木と多分野の委員構成であることから、各分野からの話題提供とともに地下空間についてわかりやく社会に伝えることも視野に入れて意見交換を行っている。また、避難実験等について実施の検討を行なう。

3. 14 年度活動経過

平成14年 7月13日 第 1回 小委員会

講 師： 日本技術開発株式会社 渡部 與四郎 顧問

テーマ： 将来市街地像を地中空間をふまえ考える

— 都市再生と将来市街地整序の方向 —

平成14年10月 8日 第 2回 小委員会

講 師： 東京都立大学 人文学部心理・教育学科教授 市原 茂 先生

テーマ： 『視覚と聴覚の交互作用について』

平成14年12月21日 第 3回 小委員会予定

4. 心理小委員会名簿

(2002 年 10 月現在)

氏 名	所 属・役 職	氏 名	所 属・役 職
委員長		田中 正	名古屋大学大学院工学研究科地圏環境工学専攻助手
神作 博	中京大学心理学部心理学科教授	福井 斉	関西大学社会学研究科社会心理学専攻
副委員長		本多 薫	山形大学人文学部人間文化学科人間情報科学コース助教授
和氣 典二	中京大学心理学部心理学科教授	松本 直司	名古屋工業大学工学部社会開発工学科建築学系教授
委員		三田 武	(株)日建設シビル都市基盤設計部設計主管
市原 茂	東京都立大学人文学部心理・教育学科心理学専攻教授	向井 希宏	中京大学心理学部助教授
榎本 博明	大阪大学人間科学部助教授	大和 紀子	(株)ニュージェック西日本事業本部交通・道路部構造保生室係長
奥山 健二	名古屋市立大学芸術工学部生活環境デザイン学科教授	横井 優子	名古屋大学教育発達科学研究科心理発達科学専攻
粕谷 太郎	鉄建建設(株)エンジニアリング本部技術部部長	水口 雅晴	三菱地所(株)都市計画事業室参事
小松 一也	中京大学心理学研究科実験・応用心理学専攻	幹事	
清水 則一	山口大学工学部社会建設工学科教授	西田 幸夫	(株)熊谷組営業統括部営業推進部地域・防災G部長
西 淳二	名古屋大学大学院工学研究科地圏環境工学専攻教授	富田 剛久	都市地下空間活用研究会主任研究員

第8回地下空間シンポジウム実行委員会

委員長	大塚 正博				
委員	安藤 慎一郎	井田 隆久	工藤 康博	酒井 喜市郎	
	瀬戸 政宏	西田 幸夫	藤原 康政	三田 武	
幹事	粕谷 太郎				
オブザーバー	清木 隆文				

(50音順)

ご注意 当該出版物の内容を複写したり他の出版物へ転載するような場合は、必ず土木学会の許可を得てください。

地下空間シンポジウム論文・報告集—第8巻—

2003年1月6日発行

編集者 〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目無番地 土木学会地下空間研究委員会

委員長 西 淳 二

発行者 〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目無番地

社団法人 土木学会 専務理事 古 木 守 靖

発行所 社団法人 土木学会

〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目無番地

電話 03-3355-3441 番(代表) Fax 03-5379-0125